



発行・京都障害者スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

チームワークの大切さを学んだ

陸上大会

参加者よりのメッセージ

陸上大会は1000メートル走とリレーに出場しました。1000メートル走では4位になって残念でしたが、一生懸命に走ったので悔いはなかったです。リレーは第一走で誰にも抜かれずに、次に人にバトンを渡すことが出来ました。チームは3位になって銅メダルをもらえて良かったです。3位になれたのは自分だけでなく、みんな力を合わせて3位になったのでチームワークの大切さを学びました。この陸上大会をバネに就職してからもうチームワークの大切さを忘れないようにしたいと思いません。

(阪上一樹)

陸上大会に出場しましたが、僕は走ることは苦手なので、落とさずには、競技が始まるまで練習用のグラウンドを歩いていました。でも自分の順番になると全力で走りました。ピリの一步手前

にゴールできてよかったです。リレーは3位になるかと思いましたが、最後に抜かされて4位になったのが少し残念でした。

(村山智章)

走ることがあまり好きではなく、休みたいと思いが大会を迎えました。不安な気持ちのままに競技が始まり、スタートダッシュで遅れて4位でした。リレーはアンカーだったのも、不安で不安でした。結果はまた4位でした。大会までにもう少し走り込んで練習をしておけばよかったと思いました。

(江頭 5)

録がだせたといい残念でした。支援学校の後輩にもたくさん逢えて嬉しかったです。4×100メートルリレーは3番目に走りアンカーに3位で渡せて良かったです。銅メダルを獲得してとっても嬉しかったです。

(森田 伸)

1000メートル走はあと1人抜かしていたら3位になれたのに、ゴールするまで抜かせられなかったのが悔しさが残ります。リレーはみんな協力して走ったので銅メダルが取れて良かったです。前日まで企業実習だったので、少し体力が落ちていたように思い不安でしたが、しっかりとウォーミングアップして臨んだのが良かったと思います。大会が終わって足が痛くなったので、家に帰ってから湿布を貼りました。

(山内翔平)

リレーで抜かれてしまったことがすごく残念でした。1000メートル走もリレーもメダルが取れるかと思っていたのが取れなくて悔しかったです。毎日のランニングはしんどくなると思うのを諦めていました。これからは最後まで走りきろうと思いました。

(稲葉幸稔)

400メートル走は最後

しんどかったです。1位になれて良かったです。リレーはアンカーで責任重大でしたが、前の3人が走ってくれた3位をキープしてゴールできたので良かったです。

(白坂浩樹)

昼食の前に全員でサブトラックに行き練習をしました。私は今週体操担当なのでみんなの前に出て柔軟体操の声をかけました。トラックを一周軽く走ったあと、リレーの練習をしました。リレーは京都校女子チームで走りました。

(海江田美可子)

1000メートル走はスタートして直ぐに2人に抜かれました。何とか追いつこうと走りましたが、最後まで追いつけずに3位で銅メダルでした。リレーは4位でした。4人がもう少し早く走ったから3位になれたと思います。3位になれたと思います。4人も頑張ったので良かったです。

(吉田 慎)



行事予定	10月	11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月のつどいは 11 / 13 第2日曜日
		15(土)	京都市障害者体育大会障害者レクリエーションフェスタ	梅小路公園芝生広場	
		16(日)	235回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
			第34回府民総体交流種目卓球バレー大会	京都市障害者教養文化・体育会館	
		22~24	第11回全国障害者スポーツ大会	山口県	
		23(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
11月		8(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2011年9月18日に一部更新)					
車椅子ハンドボール講習会 10月22、29、11月5、12、19、26(いずれも土曜日) 京都市障害者スポーツセンターにて					

スポ振ルネサンス (42)

〜心でつなぐ活動を〜
京都障害者スポーツ振興会

副会長 水谷 裕

早くも10月になり、今年度も折り返し点を通過しました。

この間、全国障害者シンクロナイズドスイミングフェスティバル、京都府スポーツ・レクリエーションフェスティバル、全京都障害者総合スポーツ大会において、6月の卓球バレー大会を皮切りに、9月までの間、卓球大会、水泳大会、陸上競技大会、アーチエリート大会を開催するなど、順次事業を進めてきました。

こういった事業を行う中で、いくつかの事業で、その形態は様々ですが障害のある人々のスポーツ活動への理解を促すことを目標に、学生のボランティアを受け入れています。その内、学校の単位取得を前提とした参加があるのですが、それらの人に対する苦言を、以前から競技団体の方たちから聞いていたことで、「全体の雰囲気が悪くなる」とか「手伝うどころか、かえってジャマになる」などの声が聞こえていました。

たとえを挙げてみますと、言われたことしかしない。

「ドラドラと動きが遅い。少し言っただくらいでは動かない。」

「少し作業を行なっただくらいでへたり込む。」

「ヒマがあれば、しゃべっていたり、騒いでいたりしている。」

他のスタッフが動いているのに仲間同士座って喋っている。

男女でイチヤツイテいる。土足のままイスに足を上げて座る。

流行りか知らないが、ジヤージをお尻までずらしている学生もいる。などなど、

そして今年も、振興会のスタッフから同じ様な意見が上申されてきました。それは、陸上大会でのことで、それを抜粋しますと、

（以前からそのグループのボランティアさんに思うことがあります。今回は選手のみなさんにとつても迷惑になるのではないかと思ひ報告のこと）

一部の人はやる気があ

りテキパキと動いていたが、やる気のない人が多かった。

「こちらが言わない限り動かない。」

「必要事項のメモを取らない。」

「仲間内でずっと話している人も多くいた。」

大会中に「早くかえりた」「めんどくさい」「もういいや」など選手のみなさんにとつて心がなえてしまうような発言もあつた。

最後のリレーでは選手をゴールに誘導するため

に人が必要だと伝えても関わらず、「一度何をしたらいいのかを聞いてきます」と言い残したきり帰ってこない。学生さんがいないため、結局私が一人で誘導しなければならなくなり、結果、選手がレーンの近くを歩いてゴールに帰る姿も見られ、陸連の方からもしっかりと誘導してほしいといわれてしまつた。

これらのほかに、以前拳が打っていたのと同じことが見られたそうです。

何をしにきていたのかをしっかりと考えていた

だきたいと思ひます。最後にその振興会スタ

ツフは、

「きつとみなさんはそれらの学生ボランティアに対して何等かの思いを持たれているからその言葉だとは思いますが・・・」

「単位ののために来ることで初めて障害のある人々との出会い新たなボランティアに

つながつたり、障害のある人々への理解を広げていく

ことにつながつていることは事実としてあります。ただ、ボランティアに参加した以上他のボランティアと同様やる気を持って活動して

いたいただきたいです。今年度、学校のほうに申し入れをしていただき、一生懸命

をやつてない人には確実に単位がもらえない仕組みに

していただくなど制度として工夫をしていく余地があるように思ひます。」

と、結んでいきました。

振興会としても、看過することなく、対処していき



平成23年度
障害者スポーツ指導者研修

11月26日(土)

開校式・ボランティア概論
指導者資格制度の説明
車いすハンドボール

12月10日(土)

リハビリテーション概論
ゴールボール

12月17日(土)

障害者福祉概論
手話
スポーツ指導者概論

1月7日(土)

障害者スポーツ概論
卓球バレー

1月8日(日)

精神障害者福祉概論
スポーツのつどい
閉校式

問い合わせ・申込みは

京都障害者スポーツ振興会
まで